

# 信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 74 2011年2月

発行：日本信頼性学会  
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11(財)日本科学技術連盟内  
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9844  
WWWホームページ <http://reaj.i-juse.co.jp>  
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

## 日本信頼性学会第19回春季信頼性シンポジウム発表募集のご案内 《 追加募集 》

- (日 時) 2011年6月3日(金)  
(会 場) 財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル  
(主 催) 日本信頼性学会 (後 援) 財団法人日本科学技術連盟  
(協 賛) 社団法人応用物理学会、社団法人電子情報通信学会、社団法人電気学会、社団法人日本機械学会、社団法人日本経営工学会、社団法人日本品質管理学会、特定非営利活動法人安全工学会、研究・技術計画学会、社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本開発工学会、日本シミュレーション学会、一般社団法人日本人間工学会、プロジェクトマネジメント学会、IEEE Reliability Society Japan Chapter (後援・協賛は依頼中)

### ＜発表のおすすめ＞

例年のごとく総会に併せて春季信頼性シンポジウムを開催いたします。わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思っておりますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思っております。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

### ＜シンポジウム特集号のお知らせ＞

各セッションの発表の中から優秀なもの1ないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ（希望があれば原著論文としても受け付けます）としてシンポジウム特集号への投稿を推薦することになりました。この特集号は、通常よりも短い期間で審査を行います（ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります）。

### ＜予定セッション構成＞

1. [組織、管理、規格、プロジェクト管理面]：生産システム、組織改革、管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例、管理手法適用事例、人間信頼性、社会との関わり、または新手法。
2. [試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面]：部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析、物性（接続、接着、腐食、摩耗、疲労、マイグレーションなど）、全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. [システムの信頼性、保全性、ライフサイクルおよびソフトウェア面]：システムまたはソフトウェアの信頼性、保全性、ライフサイクルコスト、リサイクル、リユース、保全支援活動の設計、解析、保証事例・改善事例など。
4. [安全性、リスク]：産業安全、製品安全、リスク解析など。
5. [データ収集、解析]：情報システム・ネットワークのモニタ、遠隔・多量・自動データ計測、ノイズ解析など高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術、新データ探索など。
6. [理論、一般]：基礎理論、数学的技法、モデル化と統計的解析など。

### ＜参加費と発表者の特典＞

[シンポジウム参加費]正会員・賛助会員・協賛学協会会員 2,000 円, 非会員 3,500 円, 学生 1,000 円  
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者は情報交換会にご招待いたします。

### ＜発表申込方法＞

申込方法 「発表申込書」に発表概要を記載の上, 電子メールにてお申し込み下さい。申込書の Word ファイルは学会ホームページ(<http://reaj.i-juse.co.jp>)にあります。または、学会誌「信頼性」2011 年 1 月号からコピーして FAX にてお申してください。

申込期限 2011 年 3 月 25 日 (金) まで

審査結果 2011 年 4 月 4 日 (月) 頃までにご連絡いたします。

発表原稿締切 2011 年 5 月 9 日 (月) ワープロで A4 判 2 枚または 4 枚

申込先 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-9844 E-mail: reaj@juse.or.jp

## IEC ディペンダビリティ規格研究会

信頼性, 保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格 IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 第 88 回 2011 年 3 月 22 日 (火) 18:30~21:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル 会議室

(JR 代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩 10 分, 地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩 7 分, 都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩 10 分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ, 保全性プログラムの適用の手引き, IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い, 適用上の問題点を明確にし, 最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格, 60300-3-11: Reliability centered maintenance, 60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は, これらの規格を正確に理解し, わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い, 会員に周知したいと考えています。新しい会員, 特に, 若手会員の参加を歓迎します。

(連絡先) 主 査 山内 慎二 (自宅) Tel/Fax 03-3948-7364

副主査 黒田 豊 (自宅) Tel/Fax 042-563-1501

## LCC (Life Cycle Costing) 研究会

国際規格 IEC 60300-3-3: Life Cycle Costing 2<sup>nd</sup> Ed. (2004) の英語版を教材として用い, 輪読式に翻訳と内容検討, 技術的関連事項の調査研究, 適用事例収集を行いつつ, メンバー相互の研鑽に励んでおります。

原則として月一回の例会と春秋の発表会への参画, 情報収集等 LCC ロードマップに沿った活動を行っております。新規参画歓迎。

(日 時) 2011 年 3 月 25 日 (金) 18:00~20:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部 会議室

(JR 代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩 10 分, 地下鉄副都心線北参道駅から徒歩 7 分, 都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩 10 分)

(資料) IEC 60300-3-3:Life Cycle Costing 2<sup>nd</sup> Ed. (2004)  
(連絡先) 研究会主査 夏目 武 natsumetom@ybb.ne.jp  
同 副主査 古野 紀雄 n-furuno@ct.jp.nec.com  
山内 慎二 yamanouc@mbc.ocn.ne.jp

## 日本信頼性学会 関西支部 2010年度 第3回見学会

次の通り、日本信頼性学会関西支部の見学会を開催します。

会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

(日時) 2011年3月18日(金) 14:00~16:30

(見学先) 関西電力㈱ 大阪北支店

大阪市北区本庄東3丁目9番3号 (案内図 <http://www.kepco.co.jp/kita/>)

(集合) 正門前 (13:50)

(交通) 1. 阪急・地下鉄「天神橋筋六丁目駅」(11番出口) から北へ徒歩約10分  
2. JR環状線「天満駅」から北へ徒歩約15分

(内容) 1. 会社紹介、事業内容紹介  
2. 施設見学 (扇町営業所配電自動化設備および大阪北給電制御所)  
3. 講演 電力システムの信頼性向上

「配電設備高機能化」 電力技術研究所様

「制御リレー劣化診断手法研究」 電力技術研究所：服部副主任研究員

(概要) 産業活動にとって、また、家庭にとって、電力はかけがえのないライフラインとなっています。その電力にとって停電は致命傷ですが、近年減少しています。これは、電力会社様の地道な信頼性・保全性活動の積み重ねです。その内容は、われわれの活動にとっても非常に興味深いものです。

電力供給の信頼性向上は、大きくは設備改善と故障前診断によるものです。前者の設備改善では、近年著しく技術向上が進んだ設備として配電設備があります。配電設備は、システムの高機能化によって配電線事故時の復旧工程の自動化と、配電線切り替えのための遠方制御が導入されています。また、配電線においては配電線アレスタの設置拡大により、雷事故による停電は短時間に自動復旧ができる設備が増加しています。後者は変電所に使用されている部品の使用年数を把握し、診断技術の研究を通して交換時期判断の検討が進められています。幸いにも今回、関西電力㈱様のご協力で電力供給の司令塔である街中の給電制御所を見学でき、講演を聞ける機会を得ました。またとない機会ですので、多くの方の参加をお待ちしています。

(参加費) 会員及び学生：無料 非会員：2,000円

(申込先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [植村]

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25 中央電気倶楽部4階

(財)日本科学技術連盟 大阪事務所 内

Tel : 06-6341-4627 Fax : 06-6341-4615 E-mail : [reaj-kansai@juse.or.jp](mailto:reaj-kansai@juse.or.jp)

(申込方法) 氏名、会社名、所属、所在地、電話番号、メールアドレス、会員番号(非会員の場合は一般と記入)を記入の上、上記宛先までお申込みください。

(申込締切) 2011年3月11日(金)

注：参加人数は30名以内とします。定員になり次第締め切ります。

## 安全工学シンポジウム 2011

(日 時) 2011年7月7日(木)～8日(金)

(会 場) 機械振興会館(東京都港区芝公園3-5-8)

(主 催) 日本学術会議(総合工学委員会)

(共 催) 日本信頼性学会 他

(開催趣旨) 日本学術会議主催「安全工学シンポジウム2011」は、安全工学に関する各分野における問題提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

(連絡先) 実行委員長 中曾根祐司(東京理科大学)

E-mail: [anzen@jsme.or.jp](mailto:anzen@jsme.or.jp)

(幹事学会事務局) 〒160-0006 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階

日本機械学会総合企画グループ(担当) 野口

TEL03-5360-3505 FAX086-251-8061 E-mail: [noguchi@jsme.or.jp](mailto:noguchi@jsme.or.jp)

詳細は、<http://www.jsme.or.jp/conference/anzen2011/> をご参照ください。

## ロボティクス・メカトロニクス講演会 2011

### ー進化するロボティクス・メカトロニクスー

(日 時) 2011年5月26日(木)～28日(土)

(会 場) 岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町14番1号)

(主 催) 社団法人日本機械学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(概 要) 本講演会はロボティクス・メカトロニクスに関する国内で最もメジャーな講演会です。完全ポスターセッションの特徴を活かし、ロボティクスおよびメカトロニクスの基礎、理論、応用技術などに関する最先端の研究と技術について討論できます。

(連絡先) 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島3-1-1

岡山大学 則次 俊郎 TEL/FAX086-251-8061 E-mail: [toshiro@sys.okayama-u.ac.jp](mailto:toshiro@sys.okayama-u.ac.jp)

詳細は、<http://www.jsme.or.jp/rmd/robomec2011/> をご参照ください。

## 日本人間工学会 第52回大会および第13回日韓共同シンポジウム

(日 時) 2011年6月6日(月)～7日(火)

(会 場) 早稲田大学 国際会議場(東京 新宿)

(主 催) 一般社団法人 日本人間工学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(連絡先) 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学基幹理工学部表現工学科 河合研究室内  
(担当) 盛川浩志 TEL03-5286-2853 E-mail: [info@jes2011.jp](mailto:info@jes2011.jp)

詳細は、<http://jes2011.jp/> をご参照ください。

## 平成 24 年度採用分特別研究員・特別研究員－RPD の募集について

独立行政法人日本学術振興会では、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ若手研究者の養成・確保に資することを目的として、特別研究員事業を実施しています。

平成 24 年度採用分特別研究員および特別研究員－RPD の募集については、下記ホームページ掲載の募集要項により行います。

### 【特別研究員】

1. 申請受付期間：平成 23 年 6 月 6 日（月）～8 日（水）【必着】

2. 募集要項等

特別研究員→→→[http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd\\_boshu\\_f.htm](http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_boshu_f.htm)

海外特別研究員→[http://www.jsps.go.jp/j-ab/ab\\_boshu\\_f.htm](http://www.jsps.go.jp/j-ab/ab_boshu_f.htm)

### 【特別研究員－RPD】

1. 申請受付期間：平成 23 年 5 月 11 日（水）～13 日（金）【必着】

2. 募集要項等

特別研究員－RPD→[http://www.jsps.go.jp/j-pd/rpd\\_boshu\\_\\_f.html](http://www.jsps.go.jp/j-pd/rpd_boshu__f.html)

(連絡先) (独) 日本学術振興会 総務部研究者養成課 特別研究員募集担当

〒102-8472 東京都千代田区一番町 8 番地 TEL03-3263-5070 FAX03-3222-1986

## 行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>日本信頼性学会 関西支部 2010 年度 第 3 回見学会</u>	関西電力(株) 大阪北支店 大阪市北区	3/18	3/11	
<u>IEC ディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	3/22		
<u>LCC 研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	3/25		
ロボティクス・メカトロニクス講演会 2011 ー進化するロボティクス・メカトロニクスー	岡山コンベンションセンター 岡山市北区	5/26~28		<a href="http://www.jsme.or.jp/rmd/robomec2011/">http://www.jsme.or.jp/rmd/robomec2011/</a>
日本信頼性学会第 19 回春季信頼性シンポジウム	日科技連 千駄ヶ谷	6/3	3/25	<a href="http://reaj.i-juse.co.jp/event/2011/110603.html">http://reaj.i-juse.co.jp/event/2011/110603.html</a>
日本人間工学会第 52 回大会 第 13 回日韓共同シンポジウム	早稲田大学国際会議場 新宿区	6/6~7		<a href="http://jes2011.jp/">http://jes2011.jp/</a>
The Seventh International Conference on “Mathematical Methods in Reliability”- Theory. Methods. Applications (MMR2011)	Beijing Institute of Technology 北京 中国	6/20~24	3/1	<a href="http://www.mmr2011.cn/windows/index.htm">http://www.mmr2011.cn/windows/index.htm</a>
安全工学シンポジウム 2011	機械振興会館 港区芝公園	7/7~8		<a href="http://www.jsme.or.jp/conference/anzen2011/">http://www.jsme.or.jp/conference/anzen2011/</a>
The 22nd IEEE International Symposium on Software Reliability Engineering (ISSRE 2011)	東京国際交流会館プラ ザ平成, 江東区お台場	11/14~17	5/1	<a href="http://2011.issre.net/">http://2011.issre.net/</a>